

THE HEROES

注目ライダー直前インタビュー

blUCRUレーシングチーム鷹 IA2 #4 中島 漱也選手

「悔しい思いを力に変えてチャンピオンを狙ってます!!」



開幕戦HSR九州大会でのIA初&総合優勝おめでとうございます。大接戦で見応えのあるレースでした。

去年は正直もうちょっと戦えると思っていたのに、ジェイさんほぼ全勝みたいなシーズンになってしまった。それでシーズンオフに自分に足りないところを考えて、色々新しいことに取り組んだんです。それが結果に繋がって、すごく嬉しかったです。新たに取り組んだことは？

地元の先輩でもある新井宏彰さんにコーチに付いてもらって、去年悪かったスタートを含め乗り方から普段のトレーニングや食事のことまでアドバイスをもらいました。

開幕はIA1、IA2共にトリプルヒートのスプリントレースでした。

去年から2位争いは混戦で、接戦になるのは分かっていた。それだけに開幕を取って1歩抜け出すことが大事になって。新たに海外選手が加わって、みんな狙ってた中で自分が勝ったことは自信になったし、いいシーズンに出来ると思っていた。新加入のヴィクトル選手に付いては？ ヒート3は逃げられてしまいましたね。

スタート直後に転倒してしまったこともあるけど、練習走行からいきなりタイムを出してきて、速いのは分かっていた。まだ日本の環境に慣れてない部分もあったと思うし、これからは強くなると思っています。昨シーズンの二の舞にならないようにしっかり喰らいついて、将来世界を目指すために自分もまだまだレベルアップしなきゃダメだし、シーズンの終盤には勝負して勝てるように準備していくつもりです。

地元のオフウィは、去年は確か…？

去年は開幕戦が3-3と言う結果で、全ヒート表彰台に立つことが出来て、調子が維持出来ていたし地元に戻って絶対に行けるぞって思っていたんですが、直前に怪我をしてしまった。その後焦って復帰して調子を崩してしまったし、今思い出しても本当に悔しいです。

IA2決勝は今回30分+1周のレースですが？

自分的にはトリプルより合っていると思っています。優勝出来ればいいけどそれが簡単ではないことが分かっているので、落とさないで走り切ればと考えています。

IAに昇格して今年で4年目でしたよね？ 以前は実家の仕事を手伝いながらレースしてって聞いていましたが、それは今も？

実家暮らしは今もなんですけど、メーカーさんとスポンサーさんのお陰でなんとライダー1本でやって行けるようになりました。基本週末2回と平日2回乗って週2日がトレーニング、1日休みな感じです。家はキャンパーを造るのが仕事で、ウォーニング付ける時とかお父さん一人じゃ出来ないの、手伝いに来てくれたらまに呼ばれます(笑)。

改めて地元大会への意気込みと抱負を聞かせてください。

最後までしっかりと走り切る。目標はあくまでシリーズチャンピオンになることなので、毎戦1ヒート1ヒートをしっかりとめで行くつもりです。もちろん全力で面白いレースをお見せします。特に今年のIA2は大混戦状態なので、スタートから激しいバトルを楽しんでもらえると思います。そんな中で今回は特にIA2とボクの走りに注目してもらって、コースサイドやパドックで元気に応援してもらえたら嬉しいです!!

地元関東勢に熱い応援よろしくお祈りしま〜す!!

3シーズンに渡って新型コロナに翻弄されてきた全日本モトクロスですが、今季開幕戦から入場の検温や問診もなくなり、コースサイドで声を出しての応援ももちろんOK。パドックの往来にも制限がなくなり、ようやくモトクロス本来の雰囲気に戻って来ました。もちろん感染自体が完全収束したわけではないので、個々の配慮はあって然るべきとは思いますが、5月の空の下でのアウトドアのイベント、コースサイドで体感出来るモトクロスならではの迫力とライダーとのコミュニケーションをぜひ満喫してください。

というわけで応援して欲しい地元ライダーと言えば、ベテラン小方 誠選手(#5/ホンダ)は神奈川県、大塚豪太選手(#7/ホンダ)は栃木県在住。生まれも育ちも上尾市という超地元ライダー星野優位選手(#9/ヤマハ)が怪我のため欠場となってしまったことは残念ですが、埼玉からは秩父出身の町田旺郷選手(#11/ヤマハ)の開発ライダーとして参戦しています。地元川越のチーム鷹から参戦する小林大治朗選手(#23/ヤマハ)は住んでいるのも川越。小林康志郎選手(#25/KTM)も埼玉。そして埼玉出身と言えば、クラス最年長の中村泰介選手(#26/ヤマハ)がもちろん今年も参戦しています。往年の名ライダー鈴木秀明さんの門下を叩きマシンをヤマハにスイッチした西元気選手(#20)は神奈川県海老名市のライダー。大塚選手と共に地元の名門チームT.E.SPORTからエントリーする小野千成選手(#19/ホンダ)はクラス唯一の東京都在住のライダーです。

IA2クラスでは左のインタビューに登場頂いた中島漱也選手(#4/ヤマハ)が東京八王子在住。鴨田翔選手(#9/カワサキ)、クラス最年少の山崎巧也選手(#34/ホンダ)、根岸瑞生選手(#36/ホンダ)は埼玉。神田橋隆選手(#16/カワサキ)と真野凌輔選手(#22/ガスガ)は神奈川県。齋藤嵩選手(#30/ヤマハ)と村野晟弥選手(#41/カワサキ)、齋藤健太選手(#41/カワサキ)は東京都。ルーキーの有山大輝選手(#02/ヤマハ)は東京留米市在住、沖縄出身の上原巧選手(#46/スズキ)も都内在住のライダーです。

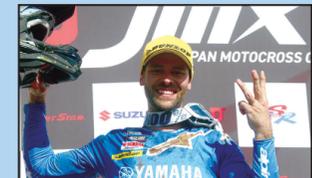
他にも各クラス関東勢が多数出場しています。公式プログラムには出身地やチーム名が記載されているので、コースサイドから熱い応援をぜひお願いします。



VOICE CONTROL レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

- IA1 #7 大塚豪太選手
IA1 #16 町田旺郷選手
IA1 #20 西元気選手
IA2 #23 小林大治朗選手
IA2 #11 鴨田翔選手
IA2 #20 佐野雄太選手
IA2 #22 真野凌輔選手
IA2 #32 齋藤嵩選手
IA2 #40 村野晟弥選手
IA2 #02 有山大輝選手
LMX #1 川井 麻央選手

第1戦 HSR九州大会 4月8-9日 熊本県 / HSR九州オフロドコース 天候:晴れ



IA1、IA2クラス共に15分+1周×3のトリプルヒートが採用された開幕戦。IA1第1ヒートは国内最高峰クラスにスイッチしたIA2チャンピオンのウィルソンが渾身のスタートを決めた一方で、ラインを交錯させたディフェンディングチャンピオン富田が転倒を喫し大きく出遅れる波乱の幕開けとなる。一気にスタートし独走体制を築いたウィルソンは3ヒート全てで日本勢を圧倒し開幕パフォーマクVを達成。内田、渡辺、大塚が2位、能塚が3ヒート共3位で表彰台に登壇。焦りから完全にリズムを失い第2、第3ヒートでも転倒を繰り返した富田は9-5-6位の総合7位に甘んじる。また渡辺は第3ヒートのラストラップで激しく転倒し足を負傷。ウィルソンが圧倒的なパフォーマンス見せた一方で、日本勢は大きく水を掛けられる結果となった。



IA2クラスは、昨シーズンウィルソンの後塵を浴び続けたライダーが激しいトップ争いを繰り広げた。注目の第1ヒートでリーダーとなったのは西條。スタートホールショットから一気に逃げ切った初戦初優勝をマークした西條に続き、第2ヒートでは鋭い追い上げを見せた中島がこちらは逆転でIA初優勝を達成。第3ヒートは全日本初挑戦となるスペインの若手ライダーアロンソが本領を発揮。練習走行でいきなりベストタイムをマークして見せたアロンソは、第1~2ヒートこそミスを繰り返して苦戦するも、第3ヒートは浅井の追撃を退け全日本初優勝をマークした。

IB Openは土曜日のヒート1で武井、ヒート2では佐友が初V。LMXは本来の力強い走りを取り戻した川井が圧倒的な勝利で完全復活をアピールした。

IA1クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 5 columns: 順位 No., ライダー, マシン, チーム, Rd.1九州, Point. Lists top 19 riders and their performance.

IA2クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 5 columns: 順位 No., ライダー, マシン, チーム, Rd.1九州, Point. Lists top 19 riders and their performance.

IB Open Ranking 1位 53 佐友 睦巳 (Y) 45.2位 63 藤井 武 (Y) 45.3位 45 今岡 駿太 (Y) 32.4位 14 石平 凌大 (Y) 30.5位 11 嶋山 翔 (H) 21 6位 8 佐野 壮太 (H) 18.7位 3 高橋 輝 (Y) 17.8位 11 大西 力晴 (H) 17.9位 7 古井 奎伍 (Y) 17.10位 17 富奥 悠樹 (H) 7

LMX Ranking 1位 2 川井 麻央 (H) 25.2位 4 本田 七海 (Y) 20.3位 9 眞浦 未夢 (H) 16.4位 7 川上 真花 (Y) 13.5位 8 瀧尾 結姫 (H) 11 6位 5 楠本 菜月 (H) 10.7位 11 松木 紗子 (Y) 9.8位 12 穂苅 愛香 (Y) 8.9位 13 井川 実乃里 (H) 7.10位 16 ベレラ ユウキ (G) 6

from DIRT to DIRT (泥んこ取材記) 「ハーリングスがGP最多勝利を更新」



AMA SX では下田 丈選手が怪我からの復帰 3 戦目で 2 位表彰台に立つなど今シーズンも存在感を大アピール。でもって左の写真世界選手権モトクロスで通算 102 勝をマークし歴代第1位となったオランダ人ライダーのジェフリー・ハーリングス選手です。ちょっと古い写真ですが、2018年のインドネシア GP を取材に行った時に空港で出会って撮らせてもらいました。それまでの記録保持者はあのステファン・エバーツ。ヒートではなく総合での優勝回数です。MXGP、今年はインドネシアに加えベトナムでの開催も予定されています。ご存じでした!!

Racing Team TAKA advertisement listing riders and contact info for Moto Shop.

野田ジュニア RACING CLUB advertisement listing riders and contact info.

Baroque Works advertisement for off-road machines with 10% off coupon.

HPmoto advertisement for off-road machines with contact info for Moto Shop.

ECHO'S CAFE advertisement for a cafe with a special seat for spectators.

D.I.D. DIRT STAR advertisement for motorcycle tires.